

文化センター圏域を核とした地域自主防災連絡会（仮称）の創設について

1 目的

大規模で広域的な災害が発生した場合には、行政が全ての災害現場や被災者に迅速に対応することは物理的に困難となり、市庁舎や市職員自身が被災することで行政機能が麻痺することも予想されます。

このような中では、地域住民の自発的な助け合い、共助による避難誘導や救助活動、避難所運営等を行うことが重要となります。

このことから、市内11箇所の文化センター圏域毎に地域自主防災連絡会（仮称）を創設し、自治会を対象に圏域毎の地域特性等に合わせた防災施策を展開することで、市民が自ら主体的に「災害に強いまち」を作り上げる活動につなげることを目的とします。

2 実施方針

- (1) 文化センター圏域毎の全ての自治会・自主防災組織を対象として「まち」の特性や自然特性に合わせた施策を展開する。
- (2) 「災害に強いまち」にするため、主体的な防災活動に取り組む多くの防災リーダーを育成する。

3 主な施策(案)

- (1) 文化センター圏域の自治会・自主防災組織が防災に関して交流する場の創設
- (2) 近隣の自治会・自主防災組織同士や他の活動主体、事業所と連携が図れるよう支援
- (3) 「まち」の特性に合わせた地域防災診断や学習会・研修会の充実
- (4) 自治会・自主防災組織向け災害情報等メール配信システムの整備

4 施策により期待される効果

- (1) 「まち」の特性や自然特性など実情に合わせた防災施策の展開
- (2) 他の活動主体や事業所との協力・相互応援で新たな地域の繋がりによる地域防災力の向上
- (3) 被害の程度に応じて必要なボランティアの支援内容を予め想定することで住民の負担を軽減
- (4) 一次避難所の円滑な運営及び自宅において被災生活を送るり災者支援の充実
- (5) 「まち」の自然特性や実情に合わせた防災訓練や他の活動主体、事業所との協力・相互応援による防災訓練の実施

5 スケジュール

時 期	内 容
8月下旬	各文化センター説明会
11月下旬	第1回地域自主防災連絡会 準備会
平成28年3月	第2回地域自主防災連絡会 準備会
6月	地域自主防災連絡会 発足